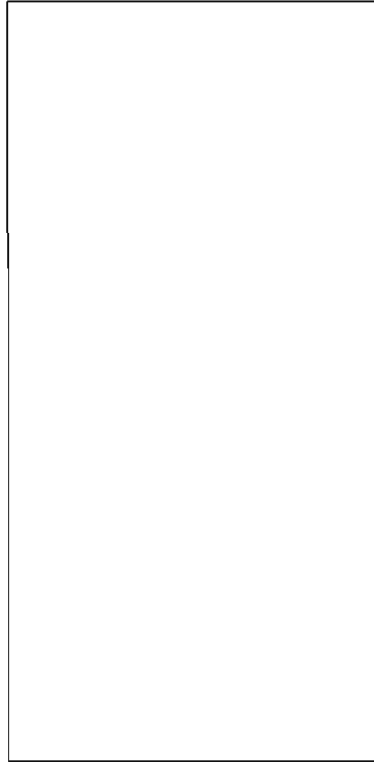


隣人 りんじん

自分たちのまわりに、どんな人がいるか、考えたことをつぎの空白に書いてください。



「わたしの隣人とはだれですか」という問いかけで始められる、よきサマリア人のたとえ話は、困って

いる人がいたら助けてあげましょうという意味で今までよく話されてきました。つまり、困っている人を助ける事によって、自分と同じように隣人を愛する事ができると考えられていました。そして、自分のまわりで困っている隣人とは誰かと問いかけるのです。この場合、隣人とはほどこしを与える対象としてのみ考えられています。

しかし、このたとえ話はもともとこのような意味で語られたのでしょうか。もしイエスさまが、「あなたの隣人とは追いはぎに襲われた人です」と答えたたと

したら、このような意味でとつてもかまわないでしょう。

ところが、イエスさまは実際には質問に答えません。

そのかわりに、イエスさまは逆に「だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか」と質問して

ます。たとえ話のたいせつな点はこのイエスさまの

問いかけにあります。このたとえ話を読んでいる私

たちへの問いかけでもあります。

イエスさまは罪人と呼ばれている人や病人と一緒に

に食事をする事によって、人から罪人と呼ばれました。

イエスさまの姿の中に、圧迫され差別された人と

もに歩みながら、自ら差別される事を恐れずに行動

した事がはっきりと見いだされます。

私たちもイエスさまに従う者として、人を差別し

た立場で見るのでなく、差別された人の隣人となり、

ともに歩み続けるようにしましょう。

